

富士市立中央病院 病院だより

第 8 号

発行:平成22年4月20日

〒417-8567 富士市高島町50
電話: 0545-52-1131 FAX: 0545-51-7077
E-mail: byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp
http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

Fuji City General Hospital

平成22年度当初にあたり

平成22年度の始まりにあたりまして、市民の皆さまに富士市立中央病院の院長としてご挨拶申し上げます。

一昨年より始まりました平成の不況は、いまだそれを脱する気配を見せていません。この不況下にあって、将来に対する不安と苦悩は大変大きなものとなっています。

さて、昨年は「富士ではお産ができなくなる!」という富士市立中央病院の存亡の危機から一転、浜松医科大学より産婦人科医の派遣が決定しました。現在はこの産婦人科もフル稼働していることをご報告させていただきます。しかし、しばらくの間この地域の住民の皆さまに、お産についてご不便をお掛けすることになってしまったことを、私たちは常に心に留めておかねばなりません。

富士市立中央病院では昨年5月より「電子カルテ」を導入いたしました。これは、私たち医療人にとっては一つの革命と言っても言い過ぎではありませんが、病院を受診される皆さまには、何が変わったか今一つ明らかではないかもしれません。

具体的に患者さまにとっては、

- ①疾患の状態を画面で、検査の結果をグラフ等で見るができるため、治療の経過がわかり易い。

- ②紙のカルテと違い、何年も前のカルテでもすぐに取り出せるため、初診からの経過がよくわかり安心して受診できる。

- ③検査や処置の申し込みが瞬時にパソコンで送信されるので、待ち時間が短縮された。

などが、主なメリットとして挙げられます。

電子カルテを運用して日が浅いため、未だ十分な利用ができていない点もございますが、すべての職員が日々研鑽し皆さまのお役に立てるように努力してまいります。

病院長 山田 治男



山田院長は平成22年2月25日に急逝されました。「病院だより」本号の編集にあたり、院長巻頭言の原稿を用意された直後のことでしたので、ここにその原稿を掲載しました。

私たち病院職員は、山田院長のことは肝に命じて、これからもがんばってまいります。

平成22年度はここが変わる!!

平成22年度病院指針決定

『あいさつから始まる今日の医療』

- ①7:1看護を実施。(4月からは、1人の看護師が7人の患者さまの看護を行う7:1看護体制となり、今までの10:1看護体制より「手厚い看護」が可能となりました。)
- ②麻酔科常勤医3名体制。(麻酔科医の存在は、当院のような救急もしくは重症な患者さまを中心に専門的な医療を24時間体制で行う病院にとって、必要不可欠です。今までは1名の常勤医と数名の非常勤医により麻酔科医不足をカバーしてきましたが、4月より常勤医3名体制となりました。)
- ③産婦人科医1名増員。(平成21年4月より始まった浜松医科大学からの派遣により産婦人科医は5名体制でしたが、4月より1名増員され6名体制となりました。)

●医師の人事異動について ※退任日:平成22年3月31日、就任日:平成22年4月1日

診療科	退任医師名	就任医師名	診療科	退任医師名	就任医師名
代謝一般内科	宮下 弓	川浪 大治	小児科	齋藤 千徳	若林 太一
	町田 雅美	諸星 美湖	形成外科	西村 礼司	富田 祥一
	池田 梨奈	興座 功忠	産婦人科		乙咩 雅子
腎内科	田中 舞	岡部 匡裕	眼科	譲原 大輔	渡辺 勝
	西尾信一郎	森下 将充	麻酔科		清河 國仁
呼吸器内科	柳澤 治彦	栗田 裕輔	歯科口腔外科	勝田 紘子	中川 綾
循環器内科	吉野 拓哉	相澤 隆徳		黒川 正寛	

※麻酔科は、3月1日に1名就任。医師名:尾崎雅美(オザキマサミ)

● ● ● 病院からのお願い ● ● ●

■「コンビニ受診」の抑制について

皆さんは「コンビニ受診」という言葉をご存じでしょうか。一般的には外来診療をやっていない休日や夜間の時間帯に、救急外来を受診される緊急性のない軽症患者の行動のことをいいます。

当院の救急外来を受診する患者さまは年間で約1万人を超え、そのうち休日や夜間などの時間外で受診される方が7千人から8千人と7割以上が時間外での受診となっています。そして、この内の約3割の方が入院加療を必要とされる患者さまという状況ですが、中には救急で受診する必要がないような方もいらっしゃいます。

「コンビニ受診」が増えてきますと、重症な患者さまへの対応が困難になったり、入院中の患者さまの急変への対応が遅れたり、医師が休養をとれずに翌日以降の診療に支障を来したりと、様々な面において正常な医療供給体制を阻害する要因となってしまいます。

常日頃からご自身の体調について相談できる「かかりつけ医」をもつことも大事なことです。軽症な患者さまは平日の時間内に「かかりつけ医」となる開業医を受診していただくようお願いいたします。



■入院患者さまに関する電話での問い合わせについて ●医事課 内線2103

当院では、患者さまの個人情報保護を目的から、電話による入院患者さまに関する問い合わせには一切お答えしていません。直接ご本人さまやご家族さまにご確認ください。

面会時間は、平日は午後3時から午後7時まで、土曜日・日曜日・祝日は午後1時から午後7時までです。なお、患者さまご本人が面会を希望されない場合はご案内しておりませんので、ご了承ください。

今 取り組んでいること

《より信頼される検査のために》

～国際臨床検査成績評価プログラムに参加し、高い評価をいただきました～

臨床検査は、肝臓・腎臓・心臓の病気や糖尿病・貧血・癌・アレルギーなど、様々な病気の診断や治療効果の判定に重要な役割を果たしています。しかし、測定を行った分析施設により、検査の結果が違うことがあります。

そのため日本国内では、厚生労働省や日本臨床化学会、医師会、医学検査学会が中心となり、どこで測定した検査結果でも、共通の結果として利用できるよう「臨床検査の標準化」と云う作業が行われています。

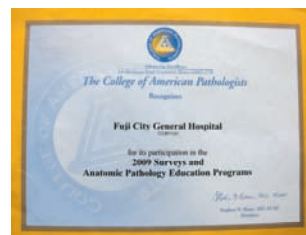
世界的レベルでは、米国病理学会(CAP; College of American Pathologists)が中心に95ヵ国23,000の医療機関を対象に国際臨床検査成績評価プログラム(CAP SURVEY)が行われています。

日本からは大学病院や基幹病院など(150施設)が参加し

ています。

静岡県内では当院が唯一の参加施設であり、百十数項目の検査結果は、すべて「Good」「Successful」「Acceptable」と良好な成績を収めることができました。これは当院で受診されている患者さまに、国際的にも通用する精度の高い正確な検査結果を報告している証明でもあります。

今回の結果は、臨床検査科職員の自信となり、国際的視野も育めたと実感しています。



米国病理学会よりの証明

●臨床検査科 内線2267

● 《聞いて得する研修会(公開講座)開催》

1月22日(金)は、「医食同源～生活習慣病に克つ食生活～」をテーマに、当院管理栄養士がメタボ予防について講演を行い、約40名の方が参加しました。

3月10日(水)は、「上手な健康食品との付き合い方～健康食品にひそむ落とし穴～」をテーマに、当院臨床検査技師が健康食品の安全性などについて講演を行い、約100名の方が参加しました。

この公開講座は、“当院職員が持つ専門知識や技術を市民

の方にお伝えしたい”との考えから、どなたでも参加可能として昨年度から実施しています。

一般の方と当院職員と一緒に学び考える場として、平成22年度も実施を予定しています。ぜひご参加ください。



富士市立中央病院診療日程表

2010年4月1日現在

診療科《部長名》		月	火	水	木	金	備 考
内 科 (代謝一般内科)《藤井宏宏》 (呼吸器内科)《木村哲夫》 (腎臓内科)《笠井健司》	初診	宇田川	岡部	山城	福井	川浪	平野医師の診察は、午前予約のみです。
		藤井	川浪	谷口	藤井	谷口	
		谷口			谷口	山城	
		木村	木村	木村	木村		
		笠井	笠井	宇田川	宇田川	笠井	
神 経 内 科		八木	森田		河野	森田	《初診は完全紹介状制です。水曜日は休診日です。》 木・金曜日の診察は、午後2時から4時までです。
循 環 器 科 (循環器内科)《三川秀文》 (心臓血管外科)《田中 圭》	初診	小菅	(交替制) 10時まで		阪本	浦部 武本	金曜日の浦部医師の診察は、偶数週です。 金曜日の武本医師の診察は、奇数週です。 《火曜日の初診受付は、午前10時までです。》
		阪本	三川	三川	三川	三川	
			田中		浦部	阪本	
小 児 科《瀬川孝昭》		瀬川 秋山 日馬	瀬川 日馬	千葉 瀬川 秋山	秋山 本木 日馬	千葉 瀬川 秋山	木曜日の本木医師の診察は午前10時30分からです。
外 科《梶本徹也》		梶本 大町 小山	吉田 良元 藤田	梶本 大町 毛利	吉田 藤田 小山	良元 毛利 根木/内田	
整 形 外 科《田邊登崇》		田邊 久富	永井 篠原	(交替制) (交替制)	永井 篠原	田邊 久富	《初診は完全紹介状制です。水曜日は初診のみです。》 《水曜日の初診受付は、午前10時までです。》
脳神経外科《諸岡 暁》		野田	諸岡 秋山	(交替制)	野田 柳澤	諸岡	《水曜日は初診のみです。》 火曜日の諸岡医師、木曜日の野田医師は再診のみです。
形 成 外 科《平川正彦》		平川		富田	平川	富田	《火曜日は休診日です。》
泌 尿 器 科《後藤博一》		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤	
産 婦 人 科《窪田尚弘》	初診	窪田	平井	鈴木	原	山崎	《婦人科初診は完全紹介状制です。》 ←婦人科再診 ←妊婦健診
		平井	原	乙咩	窪田	鈴木	
		原	山崎	窪田	鈴木	平井/乙咩	
眼 科《藤谷暢子》		藤谷 渡辺	藤谷 渡辺	藤谷 渡辺	藤谷 渡辺	藤谷 渡辺	水曜日の渡辺医師の診察は、偶数週です。
耳鼻咽喉科《高柳博久》		吉田 遠藤	高柳 (交替制)	吉田 (交替制)	高柳 遠藤	(交替制)	金曜日は初診のみです。
皮 膚 科《津嶋友央》		津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	水曜日の津嶋医師の診察は、奇数週です。 水曜日の青島医師の診察は、偶数週です。
放 射 線 科		(担当医) 大平 竹永	(交替制) 竹永	(交替制) 竹永	萬 竹永	(担当医) 成田 竹永	←治療外来 《初診は完全紹介予約制です。》 ←診断外来 《治療外来の月・金曜日は午後、水曜日は午前です。》
歯科口腔外科《勝山直彦》		勝山	勝山	勝山	勝山	勝山	川瀬医師・阿部医師の診察は、火曜日は第2週と第4週、 木曜日は第1週と第3週です。
		井出	井出	井出	井出	井出	
		中川	中川	中川	中川	中川	

※都合により、内容が異なることがあります。

『完全紹介状制』の診療科について

○神経内科・整形外科・産婦人科(婦人科のみ)・放射線科外来を初めて受診される患者さま

上記診療科を受診する際は、まず近隣の医療機関を受診していただき、その後、専門的な検査や入院治療を要する方は、紹介により当院を受診していただくことになります。

- ・紹介状をお持ちで、**予約がある**患者さまは、予約時間に診察します。
(放射線科外来は、予約がない患者さまは受診できません。)
- ・紹介状をお持ちで、**予約がない**患者さまは、予約患者さまの合間に診察します。
- ・紹介状をお持ちでない患者さまは、受診できません。

患者さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、やむを得ずこのような対応をいたしますことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

※医師の人事異動については1ページをご覧ください。



各科紹介

外科

外科には現在9人の常勤スタッフが在籍しています。全員地域の中核病院としての自覚をもち、昼夜を問わず働いています。

昨年度の外来患者数は約19,000人で、急患患者数は約500人です。年間入院患者数は約1,600人で、約640件の手術を行っています。外来診療や入院診療以外に、消化器内視鏡診療も主に外科スタッフが行っています。

外科が扱う疾患は多岐にわたります。気胸や肺がんなど呼吸器疾患、乳がん・食道がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・膵臓がんなどの悪性疾患、胆石・腸閉塞・虫垂炎・ヘルニア・消化性潰瘍・痔疾患などの良性疾患、下肢静脈瘤などの血管疾患などです。疾患の性格上、上記がん患者さまのケアが(手術をしてもしなくても)非常に重要なのですが、定期的なフォローアップ以外に化学療法(抗がん剤投与)も外科が担当します。最近では外来診療の充実が図られ、がん患者さま専用の通院治療室で外来化学療法を行っています。また、放射線療法が必要な患者さまに関しては放射線治療医

に相談して治療に臨みます。

医学の発展は日進月歩です。10年前の常識が現在では常識ではありません。しかし、知識だけで医療が行えるはずもなく、実際に患者さまに接することで私たち自身が育てられています。

私たちは標準治療を提供するため日々研鑽に励んでいますので、よろしくお願いいたします。



(外科スタッフ)

病棟紹介 ～集中治療室(ICU)病棟～

集中治療室は、「内科系、外科系問わず、呼吸・循環器・代謝、その他重篤な急性機能不全患者を収容し、強力かつ集中的に治療を行うことによって、その効果を期待する部門である」と定義づけられています。

当院のICUにおいても、救命と生命維持の安定・回復を図るため、集中的な治療・看護・管理を行っています。

スタッフは看護長以下18人の看護師と1人の医療補助員で構成されており、明るく元気で経験豊富なベテラン揃いです。

ICUのベッドは4床、患者さま2人に看護師1人が対応し、患者さま及びご家族さまが安心できる治療環境の提供に心がけています。緊急入院や重症度の高い患者さまが多く、人工呼吸器や心電図モニターなど多くの医療機器に囲まれた環境ではありますが、常に患者さまのそばで、安全・安心を心がけ、質の高い手厚い看護ケアを提供させていただいています。

病状が安定された患者さまは一般病棟に移られます。退室後の患者さまを訪問したり、退院されるときに元気になるべく姿がうれしく、励みになっております。

ICUは救命を最優先とするため、高度な専門知識と高

い技術能力が要求されます。私たちは、より確実に安全な医療と質の高い信頼される看護を提供していきたいと思えます。



(集中治療室スタッフ)

《保険医療を受けることができない病気って?—脳脊髄液減少症—

のう せき すい えき げん しょう しょう

現在、症例数が少なく、原因不明で治療方法が確立していない病気（難病）があります。このような病気の治療は、有効な治療方法として国に認められていないため保険外診療となります。そのため患者さまの負担も大きくなります。

その難病の一つに脳脊髄液減少症という病気があります。脳脊髄液減少症は、脳脊髄液が脳脊髄液腔より漏れることにより、脳脊髄液が減少し、頭痛、めまい、耳鳴り、倦怠などの症状が出ます。発症の主な要因は、強い衝撃のある事故などと言われています。治療には一般に「ブラッドパッチ」と呼ばれる、患者さま本人の血液を硬膜外腔に注入して漏れを防

ぐ治療が有効とされていますが、保険外診療です。現在、当院では治療は行っていません。

この3月3日に厚生労働省は脳脊髄液減少症の診療ガイドラインの整備などを前提に、保険適用を検討する考えを示しました。一病院で解決できる問題ではありませんが、この病院だよりを通してより多くの人に知ってもらい、一日でも早く治療法が保険指定されるよう応援したいと思います。



お し ら せ



5月12日は「看護の日」 メインテーマ:看護の心をみんなの心に

看護部では、多くの市民の皆さまに「看護の日」のメインテーマである“看護の心をみんなの心に”を知ってもらうため、毎年「看護の日」に下記のようなさまざまな記念行事を行ってきました。

- ☆ふれあい看護体験…市民の皆さまに看護師体験を通し、看護の仕事の一部にふれていただきました。
- ☆出前授業…市内の高校に直接出向き、職業講話の一環として看護師の体験談、実技指導を行いました。
- ☆看護の日イベント…外来患者さま及び付き添いで来られたご家族さまを対象に、正面玄関での血圧測定、介護用品の展示、なんでも相談コーナーの設置、「看護の日」記念グッズの配布を行いました。

今年度は「看護の日」が20周年を迎えます。看護部では、5月12日（木）に病院正面玄関での血圧測定、なんでも相談コーナー、記念グッズの配布を行いますので、ぜひご参加ください。

「看護の日」とは…

趣 旨

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を広く国民が分かち合うことが必要です。このことを、老若男女問わず誰でも認識するきっかけとなるように、厚生労働省は1990年12月、「看護の日」を制定しました。

5月12日の由来

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に設定されました。ICN:国際看護師協会（本部/ジュネーブ）では、1965年からこの日を「国際看護師の日」に定めています。



5月12日は
看護の日
20周年



中央病院正面玄関前通路の閉鎖について

以前より、中央病院の正面玄関前通路は夜間・休日に なりますと駐車車両により占拠されてしまう状況でした。

この場所は、災害時に大事な救急対応の場所となり、駐車車両があると災害時の対応に障害となってしまう。

従いまして、正面玄関前通路は平成22年4月1日より、夜間・休日は完全閉鎖とさせていただきますので、

ご了承ください。

実施時間

夜間…17:30～翌7:30

休日…終日



飲食コーナーのご利用について

1階2カ所に飲食コーナーを設置しましたので、お食事やご休憩の場所としてぜひご利用ください。

売店営業時間

平 日……午前8時30分～午後6時30分

土日祝日…午前8時30分～午後5時30分



▲中央待合室・自動受付機奥



耳鼻咽喉科奥・自動販売機前▼



総合相談センター ～こんな相談を受付けています～

内線2046

- 看護相談(がん相談含む) ●よろず相談…患者さまとご家族さまが抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
- 医療安全相談…受けた医療に関して疑問や不安があるが、医師に相談しづらい、などの相談に応じます。
- 医療福祉相談(健診含む)…患者さまの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内、などの相談に応じます。(医療福祉相談のみ 内線2918)

受付時間及び相談時間 月曜日～金曜日 8:30～16:30

※場所は1階正面玄関入って、すぐ右手です。お気軽にお声をお掛け下さい。

その他の病院内の相談は…



●お薬相談

月～金 8:30～17:00 お薬渡し口右横相談室

お問い合わせ: 薬剤科 内線2126

●栄養相談 ※予約制です。

月～金 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)

お問い合わせ: 栄養科 内線2146

●検査に関する相談・血糖自己測定器の説明

月～金 8:30～17:00 中央検査相談室(2階)

お問い合わせ: 臨床検査科 内線2267

●フットケア相談 糖尿病の患者さまの足のケア

第2・第4水・木曜 13:30～15:30 内科外来(2階)

お問い合わせ: 内科外来 内線2285

各種教室のご紹介

患者さまとご家族さまを対象とした各種教室を開催しています。開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

●腎臓病教室 お問い合わせ: 栄養科 内線2146

日時: 毎月第3火曜日 15:00～16:00

●ファミリークラス

お問い合わせ: 産婦人科外来 内線2337

日時: 毎月3回 13:00～15:00

富士市立中央病院

～平成22年度病院指針～「あいさつから始まる今日の医療」

〒417-8567 住所: 静岡県富士市高島町50

電話: 0545-52-1131 FAX: 0545-51-7077

E-mail: byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

【アクセス】

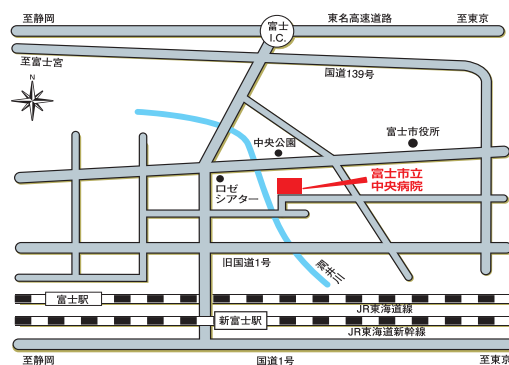
富士ICより 車で10分

東海道本線富士駅より タクシーまたはバスで10分

東海道新幹線新富士駅より タクシーで10分

○病院だよりに関するご意見ご要望は病院経営課へお願い致します。

電話: 0545-52-1131 内線: 2221・2222 E-mail: ch-keiei@div.city.fuji.shizuoka.jp



お客様の「あったらいいな」にお応えした
ウィッグのお店の誕生です。



TEL. 0545-53-4622 医療用・男性用・女性用・子供用

E-mail: wigplaza1212@ab.thn.ne.jp 国内優良ウィッグブランドが手に取って比較でき、試着もできる!

〒417-0004 富士市新橋町 3-5 (今泉小学校向) 10:00～ (不定休) 予約優先



日本通運株式会社 富士引越センター

電話 0545-33-1011



広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。

「病院だより第9号(7月20日発行)」に広告を掲載しませんか。お問い合わせ: 病院経営課 内線2221・2222